

三好公園樹木対策基本計画（案）のパブリックコメントの実施結果について

1 案件名

三好公園樹木対策基本計画（案）

2 募集期間

令和２年１２月１１日（金曜日）から令和３年１月１２日（火曜日）まで

3 募集方法

電子メール、ファクス、郵便及び直接持参による方法

4 募集結果

（１）提出者数：４名

（２）提出意見数：１７件

5 寄せられた意見とみよし市の考え方

番号	ご意見の趣旨	市の考え方（対応）
1	今回のような基本計画の前には、基本方針を決める必要がある。三好池周りの樹林をどういう公園にしていくかの議論を始めるべきである。	平成２３年７月に策定された「みよし市みどりと景観計画」では、「三好池周辺の既存樹林地などの良好な自然環境を活かし、安全安心に楽しめる憩い・ふれあい機能が充実した公園整備を推進して、市を代表する総合公園としての機能充実に図っていく。」としています。 今回の樹木対策基本計画（案）はこの上位計画を踏まえ、サクラの衰弱、季節感の乏しい樹林地への変化を危惧したうえで、良好な池周辺の樹林を保全しつつ、利用者の憩い・ふれあえる計画と考えております。また、今回のパブリックコメントにより貴重な意見をいただきましたので、参考にしながら計画を進めてまいります。
2	桜などが中心の何処にでもある見慣れた公園になり過ぎない事を願います。	樹木診断を踏まえたサクラの治療を行うとともに、今ある自然環境や特性を生かした里山、深緑、松といった多様な樹林づくりを進め、桜の名所として親しまれるだけでなく、自然の変遷や季節の移ろいを感じられる公園を目指していきたくと考えています。
3	中低木の常緑樹は、生物の生活場所、森林浴効果、寒風の緩和、貴重種の保護、人の進入抑制等の働きがあるから除去しないで欲しい。	中低木を除去しないエリア（桜の入替えゾーン、桜と深緑ゾーン）と、中低木の常緑樹を除去するエリアがあります。除去するエリアでは、除去する幅は外周道路外側が５メートル程度でそれより奥はそのままです。外周道路池側は、寒風の緩和、池への進入防止、水際環境の保全を重視し、水際から数メートルは保全する計画としております。なお、除去については一度に全てを実施するのではなく、数年以上かけて順番に現場の状況をみながら作業するようにしていきます。
4	中低木を除去することは、高木に成長したサクラの樹勢回復に効果があるか疑問である。	中低木の除去は、高木に成長したサクラの陽当たり改善には効果は高くはないかもしれませんが、土壌内の養分や水分確保の面ではプラスに作用すると考えています。

5	中低木の常緑樹を除去した後は、花木を積極的に植栽して欲しい。	明るくなった林内でどのような植物が芽生え生長していくかを確認し、必要に応じて花木の植栽を検討していきます。ツツジ類などの明るい林内を好む花が自然拡大していくことを期待しています。
6	ソメイヨシノを中心に植えるのが良い。	植樹するサクラは、周辺環境に配慮して樹種を選択していきます。ソメイヨシノの他には、民家に近い場所ではソメイヨシノほど大きくならないシキザクラ、樹林が発達している場所では、山地性のヤマザクラが適していると考えています。
7	三好池周りのサクラは線状に植樹され、長い距離を歩く必要がある。費用対効果も考えながら、弱者にも優しい面状のサクラの名所の実現すべきです。	三好公園全体に視野を広げますと、野球場・陸上競技場周辺には面的にサクラの名所があります。線状と面状のエリアがあることで、多様な利用者に満足して頂ける特色ある公園と認識しています。
8	桜の処置を適切に行う必要がある。植栽に当たっては土壌改良や定期的な施肥も必要。	現在も、公園の作業員による施肥や剪定等定期的な管理を行っていますが、今後は今回の樹木対策基本計画に基づき、樹木医によるサクラの治療を進めていきます。サクラの回復が見込めない場合は、伐採と補植（入れ替え）も行っていきたいと考えています。
9	桜を治療する際には、イベントとしての市民参加、市民見学会、市民との協働を考えて欲しい。	市民参加による協働を推進していきたいと考えております。いただいたご意見を参考に、仕組みづくりを検討します。
10	孟宗竹（モウソウチク）を利用した空気を埋め込み、土壌改良を行っている事例がある。参考にしたらどうか。	サクラの治療方法の一つとして、参考にさせていただきます。
11	切株は撤去できないのか。根を含めた撤去はできないのか。また、切った木は片付けて欲しい。	樹木対策として、枯木や切株は根元から除去するように計画します。根の除去は掘削が伴うこともあり、対応可能か検討します。また、切った木は片付けるようにします。
12	ハナショウブ花園は、現在、生態系被害防止外来種リストの重点対策外来種に指定されているキショウブが繁茂しており、除去対象です。	ハナショウブ花園のキショウブについては、繁殖状況を確認し駆除していきます。
13	今後、計画を進めるにあたり、積極的にスケジュールを公表するとともに、市民参加も考えていくとよい。	周辺自治体の事例を確認し、市民参加及び計画スケジュールについて検討します。
14	予算規模を明確にすることが必要です。対策工事費用と維持管理費用を含めて、費用対効果の高い基本計画とするように再考を求めます。	事業については長期計画となりますので、樹木医等の専門家の意見を聞きながら、費用効果の高い対策を進めていきたいと考えております。
15	公園整備事業の継続性を担保する必要がある。	事業の継続性を担保するためにも、計画を策定し実効性のある対策としていきます。

16	公園緑地課に樹木医を置かれてはいかがですか。	樹木医を公園緑地課に配置することが望ましいと考えられますが、業務の内容や事務量を職員定員適正化の考えに照らし合わせた時、業務として委託することが適正なものと考えています。
17	樹木診断は、誰がいつされたか不明です。	2019（令和元）年の晩秋に樹木医が診断しております。